

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 坂本公則

組織拡大を勝ち取る

全支部分会・委員長・書記長会議



12月14日(土)、地方本部は大会以降の諸課題と組織拡大の取り組みについて、支部・分会委員長及び書記長会議を行い意思統一を図りました。

地方本部菊池委員長は、10月5日に第65回定期地方本部大会で「組織拡大を勝ち取る」会議を継続し全力を挙げて取り組むことを確認して来ました。また、本部指令1号を発し、通年闘争として提起され1000名拡大を全国で取り組んでいきます報告。地方本部は本部指令に基づき、引き続き目標達成に向け奮闘することを要請しました。

会議は、東京地方本部中澤和夫執行委員長及び新橋支部大原真太郎執行委員から、組織拡大の経過と取り組みについて報告を受けました。中澤執行委員からは、組織拡大に特効薬はないが継続した取り組みで、諦めず粘り強く続ける事が大切で大きな力になると報告を行いました。

組織強化・拡大、労働条件改善の闘いに奮闘しよう！



取り組みの展望は

12月14日、地本会議室にて「第5回全支部、分会委員長、書記長会議」が開催されました。

菊池委員長挨拶及び赤沼書記長の提起(本部指令1号)に基づき組織の拡大に向けた一年間の具体的な取り組み、久保田組織部長からは組織年間行動計画について提起がされました。

今会議は、全体的な取り組みになれない悩みや障害を思う

食う・寝る・トイレの時間確保を
11月25日(月)、東日本本部主催でJR東日本乗務員勤務Q&A完成記念の集いが行われました。水戸地方本部からは、運輸協議会菊地悟議長と運輸協議会議長代理として坂本公則執行委員が出席しました。
乗務員勤務プロジェクトは2006年3月に発足し乗務員勤務(運転士・車掌)について改善を求め取り組んできました。国鉄からJRへ移行時に、長年の闘いで勝ち取ってきた勤務に関する諸制度や取り組み基準が重要で、
今後の闘いの武器として、JR東日本乗務員勤務Q&Aを活用し「実践の力」により充実した内容にして下さるよう勤務プロとして要請しています。

ように乗り越えられない状況を出し合い、東京地本の中澤執行委員を招き、組織強化・拡大に向けた東京地方本部の取り組みの報告を受けました。

2008年、国労加入した新橋支部(東京)の大原執行委員は、加入に至った思いも含め今後の課題について報告を頂きました。「和解決は私達が勝ち取ったもの、東労組べつたりの労務施策ではな

くなくなった。今日の状況は、以前の頭になっっている自分の気持ちを変えることが壁をなくすることにつながる。「先を見越して加入させよう」「加入させてからフォローしよう」等々が報告されました。国労の仲間との関わりや、仕事以外でも楽しく過ごすことができた。他労組の青年は、国労を知らず加入し、労働組合の違いがわかれば加入が加速す

るのではと訴えました。その後、相互討論を行い多くの意見が出され、これまでの経験からアドバイスなどを頂く中で、前向きな意見も出され展望が出た会議となりました。

